

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらめき宜野湾		
○保護者評価実施期間	R8年2月3日		~ R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R8年2月3日		~ R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人の気持ちに寄り添い、スタッフが児童の想いや保護者の声に耳を傾け、個別だったり、小集団で過ごすことが出来るような活動の提供を心がけています。	個別対応が出来る部屋の確保、庭で自由に遊べる環境を整え日によって変わる児童への支援に使えるスペースを生かし個別や小集団で活動が出来る用環境を整えています	現在法人内の専門職と(ST)連携を取り適切な支援の提供を心がけています。さらに支援の充実を図るためにもSTだけではなくOT、PT連携をとって行きたい
2	子どもたちがそれぞれの遊びを充実できるように、日によって部屋を変えるなど使い分けが出来るスペースを確保している	小集団の活動部屋、個別対応が出来る部屋があり必要に応じて対応できる環境を整えています	法人内の専門職よりアドバイスをもらいながら空間整備、導線づくりをしていきたい
3	年に2回以上の親子交流会を持ち保護者間や兄弟の交流できるイベントを企画しています	どの年齢の児童も楽しめる内容の企画を提案しています	法人内のアドバイザーに参加してもらい、保護者の困り感(児童への対応)の解決を図り、想いを共有できる会を企画したい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢幅が広く現在2歳から9歳までの児童が利用。安全に過ごすための空間づくりの工夫が必要(小集団などでは年齢ごとの支援が難しい)	年齢によって出来る事が違ったり、動きの大きな児童と体の小さい児童が同じ空間で過ごす制限されることが多くなってしまふ。	出来るだけ制限せずに建物の構造を上手く利用し、のびのびで出来る環境を整えるための空間整備が必要
2	地域交流が来ていません	子どもたちを地域で守ることを考えると事業所が積極的に地域に出ていかなければいけない。地域の行事などに参加出来たらと思っている	他事業所の取り組みを参考にしながら企画していきたい
3			